自転車に乗って・・

桃香

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト http://pdfnovels.net/

注意事項

は「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒ 囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致し ナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範 テ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。 この小説の著作権は小説の作者にあります。 このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タ 小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。 そのため、作者また

【小説タイトル】

自転車に乗って・

【作者名】

桃香

【あらすじ】

地方に嫁いだ主婦の密かな楽しみ・・

ここに嫁いできてから半年経った。

予想はしていたけど、あっという間に退屈になった。 はじめての地方住まい、仕事を辞めて専業主婦になる

その上、怠惰になって体重まで増えた。

丸見えの馴れ馴れしさや、 ンナリして、 最初はスポー ツクラブに入会したが、インストラクター すぐ通わなくなってしまった。 ご婦人方の遠慮のない蔭口と好奇心にゲ さんの下心

そんなある日、夫が自転車を買ってくれた。

クロスバイクというのだろうか、 少し前傾姿勢で乗るスポー

プの自転車。

サドルを女性でも乗りやすいよう、 幅広のものに替えて。

夫も学生時代は、ここでよく乗っていたらしい。 7 鞍馬川沿い の道

は気持ちがいいぞ。」と。

っ た。 夫の気遣いも嬉しかったし、 何より自転車は思い のほか気持ちよか

ド感と川風の心地よさ、 汗をかく充実感

何よりワタシをトリコにしたのはもっと別のコトだった..。

た場所 だりするのは楽しかった。 は珍しいので、追い抜きながらいつも振り返られた。 鞍馬川沿いの道は、 んだからね。 のだが、なんとか男性諸氏に追いつこうと必死でペダルを漕い のようで、いつ行っても、たくさんの同行者が居た。 とちょっと誇らしい気持ちもした。 自転車を趣味とする人たちの間では名の 振り返られても「女だってがんばってる 勝てる訳も 知られ 女性

が乗り、 最初はジーンズやコットンパンツで乗っていたけど、 先輩たちのようなぴっちり したストレッチ素材のパンツを だんだんに

履くようになって、 その頃から別の注目を集めるようになっ

て左右に揺れる・・お尻を見られているんだ。 わかった。サドルにつぶれて強調され、 ワタシの後ろを走っている。 つもは軽々と追い抜いていく、ドロップハンドル 最初は「?」と思ったけれど、すぐ 必死に漕ぐペダルに合わせ の男性諸氏が、

恥ずかしかったが嫌ではなかった。 ノロマに思われないように頑張った。 余計必死に漕いで、 少しでも

た。 そのうち、 その距離が長くなるほど、頑張った気持になり、ワタシは満足した。 抜いていく。追い抜きながら振り返り、ワタシの顔を確認しながら。 ある程度 スピードを上げて「着いてきて」と誘うように走るのが習慣になっ の距離を走って満足すると、男性諸氏はスーッとワタシ ゆったりと走りながら、後ろから追走の気配がすると、

乗ったり、 るが、さすがにその時は、 ストレッチパンツ以外に、 いつものように漕げなかった。 一度は、 わざと下着のラインが出るようにして乗ったこともある。 下着を着けずにストレッチパンツを履いて出たこともあ サドルに当たる前部の感触が気になって、 お肉がハミ出しそうなショートパンツ

ることがあったり、 最近は、 していることもあった。 すれ違う自転車がわざわざUターン ママチャリの中年男性が必死に着いてこようと して、 後ろに着い

もちろん、 それ以上のことはないし、 期待もしていない。

タシ の密かな楽しみとして、 今日も自転車にまたがるのである。

(後書き)

妙にリアルなのは、友達の体験(笑)が元になっているからです。 エロくならないのは、作者のチカラ不足です。

PDF小説ネット発足にあたって

ビ対応 などー 行し、 公開できるように 小説家になろうの子サイ 部を除きインター 最近では横書きの F小説ネッ の縦書き小説 ています。 の縦書き小説 そん をイ を思う存分、 たのがこ な中、 ネッ 書籍も誕生しており、 ター タテ書き小説ネッ の P ト関連= 誰もが簡単にPDF形式 ネッ て誕生しました。 堪たD 能のF ト上で配布す 小説ネッ 横書きという考えが定着しよ てください。 トです。 既 は 2 0 存書籍 ケー タイ の いう目的の基 07年、 の電子出版 小説を作成 ·小説が流 ンター

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。 http://ncode.syosetu.com/n1098f/

自転車に乗って・・

2011年1月5日13時44分発行